

磐城時報

本報發行所 磐城石城郡平町... 電話... 印刷所 磐城石城郡平町... 印刷部 磐城石城郡平町... 電話... 印刷部 磐城石城郡平町... 電話...

聽衆場内外に溢れ 大成功の平模擬市會

各議員の熱狂的質問に 井上市長鮮やかな答辯 聽衆全く感激陶酔す

平町興論喚起の一機關としての議員控室に納まつて豫め協議... 町當局を大いに鼓吹轟轟せんと二十分振鈴を合圖に市長、議長... の如く「大瀧發電所問題善後策... 協議案」を携げ、市長に該問題... の精通者縣會議員井上茂作氏、... 議長に人格圓滿なる猪狩庄平氏... を推し議員十七名の大陣容にて... 五日午後六時から平町元石城郡... 役所會議室に開會した。この日... 朝來の雨午後に至つて更に激し... さを加へたにも拘はらず開會午... 後六時といふのに四時半頃から... 傍聴者續々と會場集り定刻ま... でには殆んど傍聴席滿員の盛況... を呈した。一方議員側では議長... 猪狩庄平氏を眞先とし午後五... 時半迄市長井上茂作氏の外議員... 猪狩庄平、齋藤英三郎、高倉... 精一、柴田徳二、鈴木昌雄、... 馬目武之助、瀧澤俊平、三森... 虎雄、高橋龜松、馬目雅治、... 吉村安次郎、山野邊東次郎、... 吉田寅之輔、萩原義雄、佐藤... 武之

以上十五氏(井上貞治郎、原精一、齋藤英三郎、高倉精一、柴田徳二、鈴木昌雄、馬目武之助、瀧澤俊平、三森虎雄、高橋龜松、馬目雅治、吉村安次郎、山野邊東次郎、吉田寅之輔、萩原義雄、佐藤武之) 一兩氏(敬欠席)順次に顔を見

善後策協議案を提案するに當り、平町の重大問題として深重し御審議の程と願ふ。... 述べ、三森虎雄氏「井上市長は伊坂、伏見兩町長の後をうけて更に初志に猛進するものは愉快至極である。吾々は發電所設置に飽くまで反對する」と意見を述べ、吉田寅之輔三氏等交々起り發言管理權は平町に無いと思ふが果して有るのかと問へば井上市長、管理權は平町にあると飽くまで強辯す。... 三森虎雄氏 小田炭礦が自家用として許可され會社に賣つた事實如何。更に會社が發電所權利を平町に無償譲渡すれば如何。井上市長 會社に權利を譲つた事は小田炭礦第一期營業報告書に書いてある。發電權利を無償で平町に譲れば平町は安心が出来る。... 佐藤武之助、平町から上の原の江筋に毎年五百圓を支拂ふ事實を質問し市長の答辯あり。馬目武之助氏は往年の香沼、漆畑兩氏仲裁案の内容を問ひ、市長は會社に一片の道徳心があつたならば仲裁案通りに解決されてはどうかと信する」と答ふ。... 暫時休議後猪狩議長質問打切り... の動議を提出すれば多數にて延... 長と決し柴田徳二氏、先刻馬目武之助君は井上市長は大瀧發電所の功勞により市長になつたと云つたが、事實は然らずして、伏見町長が自決をしたから、多數議員が選舉したのだ、と皮肉

現在の平水道に果して水利權があらうか否か。... 井上市長 今日まで水道水利權は不可分のものと思はれてゐた、然るに今回水道權は内務大臣より與へられ水利權は知事が別に之を與へるといふので別個のものとしておたわけであらう然し之は土木局長の意見で法律でもない。依然として平町に水利權はあると信する。... 萩原義雄氏 水道條令と河川法から言へば平町に水利權は無い、里見事務官も好間川に於て平町が第三者に對抗する何等の權利を有しないと云つてゐる。井上市長 里見事務官は最初平町に水利權があると言ひ後に土木局長からの通知で之を翻へした。今日では未決であるから平町に水利權があるとして協議をすゝめては如何。... 三森虎雄氏 水利權は研究時の事であるから市長解釋通り水利權が平町に存するものとして協議をすゝめる事に賛成する。... この頃傍聴人は愈々其數を増し場内外に溢れ、水利權有無に對して兩派に分れ互に熱狂して相喧嘩を極めたので猪狩議長傍聴席に向つて再三注意を發する。水利權有りとして協議をすゝむ可きか、なしとして進むかについて採決する事となり。... 水利權なしとして協議を進むるもの 起立議員七名... 水利權ありとして協議を進むるもの 起立議員八名... 即ち市長意見通り水利權が平町にある事を前提として協議を進める事とし休議後第二議會に

移る。二讀會劈頭吉田寅之輔氏緊急動議として「平町洪水豫防方法」の建議案を提出せんとし詳細の説明をなせば、傍聴席聽人は更に繼續を希望すゝが知事はその徹底方を怒號し議場全く喧嘩状態となつたので。... 猪狩議長 吉田君の提案は平町の大問題で論議の價値充分にありと信するが、今日は大瀧問題の協然なる活動が續けられた賜に外議を控へてゐるから他日に保

けふ大瀧問題で 喧嘩腰の平町會 傍聴者五百余名 満場立錐の余地なき盛況

本問題は水質悪化、水量減少共に平町の憂慮した如きものでない行政裁判所の判決により證據立てられた。今後は發電所側に於て何等かの交渉を持ちかけて来るまで議員は平靜に白紙主義で在るべきである、即ちこの報告案は、この程度、質問を打切りたい。と動議を提出した。其後、續いて各議員質問の矢は遂に間斷なく正午過ぎ零時半となる。萩原義雄氏 平水道の十一名から成る水利委員は行政訴訟に關する調査研究のため設けられたもので行政訴訟が決すれば解散しても好いものと思ふ。町當局の意見は如何。尚ほ右十一名の水利委員は會議の際その身邊を當局者に護衛させたといふ事だが、それは体面を汚した

以上十五氏(井上貞治郎、原精一、齋藤英三郎、高倉精一、柴田徳二、鈴木昌雄、馬目武之助、瀧澤俊平、三森虎雄、高橋龜松、馬目雅治、吉村安次郎、山野邊東次郎、吉田寅之輔、萩原義雄、佐藤武之) 一兩氏(敬欠席)順次に顔を見

と主張すれば大森勇氏興奮して議長を呼び、水利委員が身を護衛させたとは怪しからぬ、吾々は愛町の一念から一命を投じてこの問題に没頭してゐる。萩原君の言は水利委員を侮辱した言である。

と席次札にて卓を叩き乍ら反駁すれば、之に對し井上茂作氏も萩原君の言は水利委員を侮辱する、委員が何か公用の際身を護衛させた事實がある、すればそれを指摘され度い。と主張す、之に對し萩原氏も本員の主張した事は委員の會場周囲を役場吏員をして警戒せしめたといふ事實らしく之は相當信すべき事柄であると思ふが、本員の言はんとする本旨は水利委員は行政訴訟が決定したから解散しては如何といふに在り、警戒云々の事は枝葉の事に屬するから多数議員の意欲次第では敢て失言を取消さぬものではない。釋明し喧嘩腰の事件は思つたより早く解決す。

時に午後一時伏見町長は、質問を打ち切り報告案を片附けて如何議員に諮れば「賛成々々」の聲多数らしかつたが、吉田五平氏本問題は平町の重大問題である、多数町民もこの結果如何と憂慮してかく多数の傍聴者が參集してゐるこの際一日も早く本事件を片附けて町民に安心させたい。故にこのまゝ解決に向つて審議する事を望む。

と意見のぶ。之に對し櫻井清氏傍聴者が來て居るから事件を片附けねばならぬと理屈に合はぬ、このまゝ打切つた方が好い。

と反駁す。吉田五平氏「傍聴者が來てゐるために事件を片附けんとするものではない。重大問題で町民多数は一日も早くこの解決を希望してゐるから解決したいと主張するのだ。聞き違ひせずに耳の穴を掘つて聞け。以後注意しろ」と喧嘩腰で應答すれば傍聴席では「櫻井馬鹿」と田氏に喰つてかゝり、更に傍聴席を睨んで「櫻井馬鹿と叫んだのは誰だ」と大見得を切る、議場全く混亂の状を呈す。漸くして鎮靜に歸し午後一時十五分畫食のため休憩す。午後二時半開會の筈。(以下次號)

眞相發表 演説會

大瀧發電所許可反對同盟會主催にかゝる「大瀧問題眞相發表演説會」は五日午後一時から平町聚樂館に開かれたが、馬目武之助、川崎文治、小松茂、三森虎雄、大森勇、井上茂作諸氏の熱烈あり盛會を極めた。

夜櫻に羽織半脱けかゝり、ドクトルの犠牲に生きるモルモット、子福者の年を問はれて指を折り、ドク底に生きる鐵夫の國なま、福島 四家狂瀆、頬張つた處へけたまひしい電、出た方自分で判らない、火事 出た方自分で判らない、遠くから義理に雀亂あふかれ、平町 片寄文狂

新館陳列

六月一日より
昭和中式 中形
昭和中式 手拭中形
名古屋しぼり
是非御覽を願ひます

三井呉服店

平町三丁目
電話三八番

春葉に變る

松ヶ岡公園は
春葉に變る
緑滴るばかりの
公園池畔
初夏の情景
をた慕ひあれ

春着大出賣

モスリン着尺と
セイルとネル
羽二重片側帯地
春柄提供!!
店員募集
女店員募集
事務員募集

店服吳野中

階上食堂

平町縣社通り
美味でイウ半食堂
評判のイウ半食堂
電話四六〇番

支那六神丸

古來よりの
眞正の六神丸として好評偉大
復方チアスタセ錠
あらゆる胃散にて癒さる人々に直ちに服用を勧む

大販賣店 山野邊藥局
平町五丁目角

磐城無盡商會

◎簡易の金融—誠意と堅實◎趣味の貯蓄—共存と共榮
▲絶へず會員を募ります ▲何時でも御申込下さい
大藏省 免許
本店植田町本丁 支店平町中丁

エキスピン

提供期間中六〇錠包定額十圓分を金三圓で差上ります
此の一包で如何なる重症者も卓効に満足が出来ませう
御試しあれ!此の機會に!!

特約店 藥劑師 宇佐美藥舖
平町田町(電話五五二番)

釜屋商店

和洋銅鐵
金物問屋
磐城セメント會社特約店
磐城平 電話一三九番

◎確實敏捷は◎の生命なり!!!

平町病院醫院案内

耳鼻咽喉科 大和田醫院 南町(電話一七〇番)	齒科 原齒科醫院 土橋通り(電話三一三番)	内科 外科 耳鼻咽喉科 花柳病科 高久病院 田町(電話一三五番)	外科 松村病院 南町(電話一〇七番)	外科 上田外科醫院 南町(電話二二九番)	外科 一般 婦人科 耳鼻咽喉科 赤心堂病院 田町(電話四七五番)	眼科 吉田眼科醫院 紺屋町(電話六八番)	内科 外科 淋病、微毒科 藤沼醫院 紺屋町(電話五〇七番)	内科 外科 婦人科 小兒科 花柳病科 磐城病院 田町本通り(電話一一四番)
------------------------------	-----------------------------	--	--------------------------	----------------------------	--	----------------------------	--	---